

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月18日 更新

事務事業名		地域子育て支援拠点事業				☒ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 福祉の健康				所属部	健康福祉部	課長名	荒牧 聡
	施策	4 子育て支援の充実				所属課	子育て支援課	担当者名	衛藤 和博
	施策の柱	17 地域における子育て支援				所属班	子ども家庭班	(内線)	1185
予算科目		会計一般	款3	項2	目4	事業連番10584	根拠法令	合志市地域子育て支援拠点事業実施要綱 成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑫	
終了、開始年度		☐ 29年度で終了 ☐ 29年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・乳幼児(0～3歳)を持つ親子が交流できる集いの場を提供(合志市社協、NPO法人等へ事業委託) ・少子化、核家族化が進行するなかで、乳幼児を持つ親子が気軽につどい、なごやかな雰囲気の中で語り合い、交流を図り、育児相談などを身近な場所に提供し、子育て親子の負担軽減、子育て支援を行う。 ・つどいの広場事業は、現在NPO法人ほっぼの部屋が、「ほっぼの部屋」を平成18年にみどり館からヴィーブル内福祉会館へ移動して実施されているが、平成28年熊本地震によりヴィーブルが被災したため、仮設として南群コミュニティセンターで実施している。また、合志市社協が、「わかば」を平成18年に須屋スポーツセンターから旧わかば保育園跡へ移動、平成24年度からは社協が新設したこのみ坂保育園にて実施している。また、平成22年度より小規模型の廃止により合志中部保育園が保育園内でひろば型へ移行して「ひかりの子」を実施しており、現在3箇所で開催されている状況である。 近年ではさらに気軽に行けるつどいの広場事業への親子の利用者が増加してきている状況である。
【業務の流れ】	①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤委託料請求書受付、審査 ⑥委託料の支払
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO) つどいの広場事業および地域子育て支援センター事業を委託により実施した。 委託先: 合志市社会福祉協議会、合志中部保育園、このみ坂保育園、ほっぼの部屋		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 地域子育て支援拠点事業(つどいの広場、子育て支援センター)を委託により実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア つどいの広場および地域子育て支援センターの実施数	箇所	熊本地震により実施場所を変更していたが、ヴィーブル内に戻するため地代家賃の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
乳幼児(0～3歳)をもつ親子。		→ ア 乳幼児(0～3歳)の児童数
		人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
安心して子育て・子育てができる。		→ ア つどいの広場および地域子育て支援センター利用者数
		人
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
利用希望にどれだけ対応できているかを指標とするため、利用者数として設定した。また、平成22年度以降については、前年度並みで設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込
① 活動指標	箇所	4	4		4	4	4	4	4	4
② 対象指標	人	2,140	2,905	2,900	2,948	3,000	3,100	3,200	3,300	
③ 成果指標	人	21,672	20,784	20,000	20,962	21,000	21,000	21,000	21,000	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	7,326	6,992	7,276	7,276	7,222	7,276	7,276
		都道府県支出金	千円	4,965	6,992	7,277	7,277	7,222	7,277	7,277
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	8,687	7,150	7,641	7,624	7,385	7,641	7,641
	人件費	(A) 事業費計	千円	20,978	21,134	22,194	22,177	21,829	22,194	22,194
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	2	3	2	3	3	3
人件費	延べ業務時間		時間	50	50	50	60	50	50	50
	(B) 人件費計		千円	185	0	199	237	199	199	199
	トータルコスト(A)+(B)		千円	21,163	21,134	22,393	22,414	22,028	22,393	22,393

事務事業名	地域子育て支援拠点事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度的事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】 つどいの広場を利用したい親子は全て利用できているため目標は達成できた。
	②30年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 つどいの広場を利用したい親子は全て利用できると考えられるため目標は達成見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 つどいの広場の未体験者への啓発、利用のきっかけづくりを行い利用者増を図るなど向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 つどいの広場を利用する親子が増加しており、さらなる充実を図るため事業費の削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最少人員で実施しているため削減余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 国の推進する事業であり、広く対象者に周知も行っているため公平、公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 国が推進する事業であるため、役割分担は定期性である。

3 評価結果の総括（CHECK）

つどいの広場は自由参加であるため、実績からみてもいい内容での活動が来ている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 □廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善（有効性改善） □事業のやり方改善（効率性改善） □事業のやり方改善（公平性改善） □現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																						
		<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								